

木戸 外出支援サービスの二層の充実を

交通問題、外出に対するニーズに対応

市長



木戸 徳吉 議員

問 高齢者の生活支援事業の中で、外出支援サービスにおいて、今回の見直しによって多くの方がサービスを受けられなくなつた。高齢になつてからのサービスの打ち切りは、当人にとつてはたいへんな精神的、肉体的な負担増である。

答 高齢者の生活支援事業の中で、外出支援サービスは、自力で外出が困難な方に対して行っている。利用者には公平、公正なサービスを提供したい。交通問題、外出に対するニーズというものをしっかりとらまえる中で、このあり方について

も、早急に取り組みを進めていきたい。

中学校給食の早期実現を

問 中学校給食について市長は、市長選で実施を公約された。リーダーシップを発揮され、早期に実現して

いくべきと考えるが。
市長 給食についてのどのような形でできるか、さまざまな状況の中で検討していく。
教育長 それぞれの中学校が抱えている課題を共通的にしっかりと解決していくことが大事だ。

若い単身者が入居できる市営住宅に

問 市営住宅には若い単身者は入居できない。社会形態の変化を読み取り、それ

に合った対応をすべきと思うが。

市長 公営住宅法に縛られる現状では、一自治体ではできない。地方分権の中で取り組んでいきたい。



福祉有償運送車両

村田

市民に明るい夢や希望を

上を向いて夢の実現をサポート

市長



丹政会 村田 正夫 議員



地域振興会による「フラワーライン計画」

問 市長が提案された「市民と一緒に」になって考え、育てていくまちづくりの仕組は、総合振興計画はあくまでも理想、努力目標ではない。

答 つまでも「財政難、辛抱、辛抱」ではなく、市民に夢を与えてほしい。
市長 市民参加と協働を推進し、役割分担と協働のあり方を明示したい。新市建設計画の延長である総合振興計画の着実な推進を図る。

6年後を考えすぎでは

問 財政調整基金を使わない点を評価する一方、合併

「夢の実現」という言葉が好きである。市民が希望を持って夢の実現にご尽力いただくのをサポートしたい。
市長 10年間の合併算定、その後5年間の経過措置を見据えて考えたい。枠配は画一的にやっていない。事業

特例終了の6年後を考えすぎて硬直していかないか。枠配分方式の欠点、投資的な点に弱さがあり、長く続けるものではない。過疎債に次いで有利な合併特例債をもつと活用すべき。基金造成も必要である。
市長 多額な経費が現実の姿である。地元移譲や廃止も視野に入れ、検討したい。

公の施設の管理運営は

問 持ち寄りが多すぎ、管理運営費で手一杯。投資的施策が打てないのではないか。

山下

市営駐輪場料金の障がい者減免を

市長



山下 秋則 議員

問 園部駅と八木駅の市営駐輪場を利用している障がい者がおられるが、両駐輪場料金の障がい者に対する減免等の制度がない状況。減免制度を設けている近隣自治体が多い中、本市としても障がい者が外出しやすい環境づくりを進める

観点から、減免制度の早急な実施が必要と考えるが。
市長 どういう形の減免にするのかなど、実施に向けて早急に検討する。
任期中の学校給食具現化が念頭か
問 中学校の学校給食実施

について市長は、今任期中の具現化を念頭においているのか。また、給食を実施した場合の共通課題解決に向けた議論を校長や給食関係者らで進めるといふが、学校関係者だけでなく、子育て環境充実の面から学校以外の関係者も含めて議論

すべきではないか。
市長 スピーディーで、当然、具現化を目指しての検討でなければならぬ。
教育長 まず、学校関係者が解決に向けた議論を重ねることが重要。その上で専門家等の意見も聞きながら本市らしい給食実施形態を検討したい。困難でも解決に向けた議論を精力的に進めていきたい。



園部駅西口駐輪場

川勝

地域経済と産業振興の活性化を

市長



川勝 儀昭 議員

新たな分野との連携も考慮し実施

問 農林業においては、米や野菜、木材価格の長期的な低迷が続き、また、商店街はにぎわいをなくし、土木建築業においても、公共事業の

減少や低落率による入札結果となり、依然厳しい経済状況にある。市長の総合振興計画実行の四つの柱のうち「産業の未来を創る」施策の具体的な中身は。
市長 市内の厳しい経済状況は把握している。今後4年間で産業振興を図るさま

ざまな施策の具現化に向け積極的に取り組む。

八木駅舎改築の進捗よく状況は

問 駅舎整備は長年の市民の願いであり、社会的弱者の方々のためにも事業実施は急務である。駅周辺整備

計画調査結果の内容と今後の明確な方針は。
市長 JRが所有する施設も含まれ、今後JRの意向を確認しながら協議を進め、早期の具現化に向け調整を図っていきたい。

バス交通の充実を

問 八木町における試験運行の今後の対応と福祉目的のバス運行、また、路線のない地域への対応策は。
市長 現在の試験運行は当分の間継続する。他の対応策は民間のバス、タクシー事業者の方々と協議し、早急に対応していきたい。



価格の低迷が続くブランド京野菜